

『雪女幻想』は新しい文化遺産!!

40年間にわたって、日本舞踊の普及活動をおこなっていた坂東洲雅さん。住居を移された後も、この地の文化活動に貢献したい、との思いを抱き続けてきました。そこで書き上げた舞踊劇の原案脚本が『雪女幻想』。

ひとりの少女が会った雪女。だが、村人は誰も信じない。たったひとり、和尚だけが信じてくれる。雪女の秘話として『安珍・清姫』と『葛の葉』の物語が、追いかける女と去っていく女として、対照的に描かれる。最後は極楽六鳥が舞い降りてきて、二人の女は天上界へと誘われていく。このシーンはとくに見るも美しい。

この幻想的な民話のような世界は静かに、しだいにダイナミックに展開されていきました。新しい文化遺産の誕生だと思いました。おおぜいの出演者たちの舞台上での挨拶で、まさに市民芸術祭にふさわしく花開いた『雪女の幻想』として、幕が下りました。

町田靖治(賛助会員)



『歌とダンスのフェスティバル』 芸術祭企画公演出演者募集

第21回狭山市民芸術祭で上演する音楽公演舞台への出演希望者を募集します。公演内容は、狭山市や近隣市で活躍しているプロや、当連合会会員団体および一般公募による出演者が一体となって作る、歌とダンスで構成された歌謡ポップス フェスティバルです。

公演日：令和3年2月28日(日) 会場：狭山市民会館大ホール

★募集条件：【ダンス部門】ダンスに真剣に取り組んでいる個人＝小学生以上(年齢上限なし)

◆ジャンルはジャズダンス、ヒップホップ

(公募参加者で合同レッスン後、グループを作って出演)

出演者募集

【歌唱部門】歌に真剣に取り組んでいる個人または団体

◆邦楽(古典・民謡)は対象外とします。バンド可。(レッスンはありません)

★参加費：5,000円 / 個人または団体

説明会とオーディション：令和2年6月7日(日) 狭山市内の公民館予定

※詳細は応募者に直接連絡します

応募締切：令和2年5月10日(日) 必着

※応募用紙は、募集チラシ裏面(各公民館)、

あるいは狭山市民文化団体連合会ホームページから入手できます (<http://www.bunren.org>)

編集後記

★新型コロナウイルスは学校の一斉休校に迄になりましたが、狭山市民芸術祭は間一髪で開催出来、企画公演はチケットが出ていたので、休演だったら大変でした。客席もマスク姿、創作舞踊に涙した人も居たと。プロと素人の出演者が見事に融合した舞台に関係者の苦勞が報われた事と思います。

★「文化のいぶき」も市民芸術祭中心に記事が出来ましたが、桜まつりも早々に中止が決まり、公民館も休館、会合が規制となると各団体期末を控えて心配です。

★今坂柳二さんの“まだある狭山のおはなし”第18話で一担お休みします。

(高沢正夫)